

## 第 4 回御代田町中学生模擬議会議事録

日時	令和 6 年 1 月 23 日（火）午後 2 時 00 分から午後 4 時 08 分まで
会議場所	御代田町役場議場
出席者	別紙のとおり
日程第 1 開会宣言	
中山議長	<p>ただいまから第 4 回御代田町中学生模擬議会議を開会します。ただ今の出席議員は 8 名全員の出席です。理事者側も全員の出席です。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付した通りであります。</p> <p style="text-align: center;">日程第 2、町長より招集のあいさつを願います。</p>
日程第 2 町長招集あいさつ	
小園町長	<p>御代田中学校中学生議員の皆様におかれましては、高校受験を控えた大変お忙しい中にもかかわらず、ご参集を賜り、第 4 回御代田町中学生模擬議会議が開会できますことに、心から感謝を申し上げます。また、議会をはじめ、関係各位のご協力により、本模擬議会議が開催できますことに、重ねて感謝を申し上げます。</p> <p>年が明けたすぐ元日には最大震度 7 という能登半島地震が、また、2 日には羽田空港で日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機が衝突する事故が、3 日には北九州市の商店街で大規模な火災がと、立て続けに大きな災害や事故が発生し、多くの方が犠牲になり、また被災され、避難生活を余儀なくされている方も多数に上っているところです。</p> <p>連日の報道にもしかしたら皆さんも動揺し、また心を痛めている方も多いのではないかと思います。自分も力になりたい、何かできることはないだろうかと考えていたのではないのでしょうか。また、考えているのではないのでしょうか。そんな暖かくて優しい気持ちを、これからも大切にしていきたいと思います。</p> <p>役場の方でも、今週の金曜日から職員を派遣をしたり、募金もしております。また、緊急物資の方は、大きい段ボール箱に 30 箱送らせていただきました。役場としていろんなことをやっております。安心して目の前の日常を精一杯過ごしていきたいと思っています。</p> <p>少し例に挙げましたが、御代田町役場としましても、佐久水道企業団から給水車と職員を派遣し、佐久広域消防からも御代田消防署をはじめとする各消防署から職員を派遣しております。息の長い取り組みになると思います。社協で取りまとめている町民が</p>

	<p>ランティアの事前登録にも多くの皆様のご協力をいただいております。</p> <p>受験生の皆さんは、まずは受験に向け、体調管理に気をつけながら、穏やかに過ごすことを心がけていただければと思います。</p> <p>この模擬議会は、中学校3年間の社会科学習やみよた学のまとめと郷土愛の向上、主権者意識を高めることを目的に、令和2年1月に第1回を開催しました。その後、コロナ禍を迎え、開催方法の変更や中止などもありましたが、本日4回目を迎えることができました。模擬議会とはいえ、実際の議会と同じ一般質問を経験してもらう良い機会ですので、より本物に近い形で議会というものを体験していただきたいと思います。</p> <p>本日は、3年生の皆さんで考えた質問の中から、町政に対する思いや願いが込められた8件の質問をいただいています。どの質問も、これからの御代田町が魅力的で、さらに住みやすくなるために考えられた身近で貴重な質問ですので、今後の町政に可能な限り反映できればと思っております。皆さんも議員と一緒に、将来の御代田町を考えながら傍聴していただければと思います。</p> <p>以上の通り申し上げまして、第4回御代田町中学生模擬会招集の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。</p>
--	---

日程第3 一般質問	
中山議長	日程第3、これより一般質問を行います。順次発言を許可します。

頁	通告番号	氏名	件名
2	1	松本奈桜	西軽井沢のガード下について
4	2	安井聡太郎	道の駅の新設について
6	3	白井りの	御代田町の子育て施策について
9	4	市川翼	住民生活を支援する包括的施策について
12	5	井出杏奈	入居型介護施設の増設について
13	6	小林理央	御代田駅の充実について
16	7	内堀友理音	御代田駅の町債及び起債について
18	8	中根一海	スケートボードパーク新設について

中山議長	通告1番、松本奈桜議員の質問を許可します。
松本議員	<p>私は、西軽井沢のガード下について質問をします。</p> <p>1つ目は、西軽井沢ガード下の大雨時の洪水対策についてです。西軽井沢のガード下は、線路をまたぐ道で交通量が多く、需要も多い場所です。ガード下に続く道は坂道になっていて、周囲より</p>

	<p>低いと、非常に水が溜まりやすいと思います。</p> <p>また、このガード下は長野県の道路冠水箇所マップに登録されている箇所なので、より危険なのではないかと思いました。</p> <p>以上のことから、西軽井沢ガード下の冠水対策が必要だと思います。</p> <p>2つ目は、西軽井沢ガード下付近にある横断歩道の見通しについてです。私は登下校時や出かける際にガード下付近の横断歩道をよく利用します。そこでは、交通量が多かったり、電柱に人が隠れてしまったりして危険であると感じます。</p> <p>車に接触する恐れや、渡りたいが気づいてもらえないということがありました。また、家族や知り合いの人も、見通しが良くないから危ないと言っているのをよく聞きます。</p> <p>そこで、私は、横断歩道を約10m東側に移動をすれば、歩行者と車の距離を開けることができると思います。そうすることで接触を回避することができ、安全に渡ることができると思います。</p> <p>また、電柱に隠れてしまうということもなくなると思います。以上2つについて、町の考えをお聞かせください。</p>
小林建設水道課長	<p>最初に、西軽井沢ガード下の、洪水対策についてお答えします。しなの鉄道ガード下を通過する道路は、町道上ノ林大久保線という道路になります。この道路は、いわゆるアンダーパスとなっておりますが、付近で雨が降った際には、西軽井沢地区の方面から雨水が流れ込みますので、冠水対策として、アンダーパスの周辺に道路側溝と収水マスを設置しております。</p> <p>道路側溝及び収水マスの雨水はシチズン通り、これは町道雪窓向原線という町道名になっておりますが、この地下を、南北を横断する排水路を通り、下流へ流れ、近くの児玉用水に排水をしております。道路管理者としては、職員が週1回、町内の道路パトロールにおいて、道路側溝や、収水マスの詰まり等がないかどうか点検をしております。また、大雨の時も要点検箇所として位置づけている場所がございます。</p> <p>現状、排水は十分に確保できている状況であります。なお、集中豪雨が発生し、道路が冠水する恐れがある場合は、一時的に通行止めをする等の対応を取ってまいります。</p> <p>最初のお答えについては以上になります。続きまして、西軽井沢ガード下付近にある横断歩道の見通しについて、お答えをいたします。</p> <p>横断歩道は、交通規制を所管する警察署及び長野県公安委員会で設置することになっております。今回、横断歩道の位置を、東側に10m、移動すれば、歩行者と車の距離が開き、見通しが良くなるというご意見をいただいております。これについて、佐久警</p>

	<p>察署と、協議をさせていただきました。</p> <p>まず、横断歩道の設置位置については、歩行者が安全に待機できる空間を確保する必要があります。現場はレストランまほろばがありますが、東側に 10m 移動すると、その駐車場の出入り口になってしまい、この確保が難しくなっている状況でございます。</p> <p>また、横断歩道の位置が変わった場合に、それに伴って、車の停止線の位置も変わってくるようになります。駐車場前の横断歩道との、距離が狭まります。車が時速 40 キロで走行した場合、ドライバーが歩行者を目で確認してから、車が止まるまでの制動距離が、およそ 17m 必要になると言われております。車同士の衝突など、より危険度が増してしまうような状況になってしまいます。</p> <p>また、現在交差点付近に横断歩道や警戒標識などを集中させておりますが、横断歩道の位置がずれることで、ドライバーが安全確認をできる位置が分散してしまいます。かえって危険度が増す恐れがあるということも、警察署の方から意見をいただいております。</p> <p>そのため、現状で横断歩道の位置を移動することは、交通の規制上難しいと考えられます。そこで町は、道路管理で対応できる範囲で、交差点の角にある電柱の移設について、中部電力と協議を進め、交差点の安全性が向上できれば良いというふうに考えております。</p> <p>なお、交通安全を推進するためには、車を運転するドライバーが一時停止や制限速度を守っていただくとともに、横断歩道を渡る歩行者においても、常に安全確認する意識を持っていただくことが重要であると考えております。</p> <p>特に、朝夕の交通渋滞が発生している状況で横断歩道を渡る際には、左右の安全確認と渋滞の列で死角になりがちな反対車線からの車の動きに注意していただきたいと思っております。</p>
松本議員	<p>西軽井沢ガード下の洪水対策や、電柱を移動するなどといった施策で、西軽井沢ガード下の安全が守られるといいなと思えました。以上で私の質問を終わりにします。</p>
中山議長	<p>以上で通告 1 番、松本奈桜議員の通告の全てを終了します。 通告 2 番、安井聡太郎議員の質問を許可します。</p>
安井議員	<p>私は、道の駅新設について質問します。</p> <p>私は、テレビや新聞で道の駅のことについてよく見かけます。道の駅は、文化や特産品や名所、ほかの地域への PR などの宣伝効果になります。ほかにも、地域の溜まり空間も作れます。これができることにより、町民同士の触れ合いの活性化がさらにできると思っております。</p> <p>令和元年 10 月 1 日から 10 月 31 日に行われたまちづくりに関する</p>

	<p>る住民アンケートでは、商業施設が少ないという意見がありました。このアンケートのほかにも、地域コミュニティが少ない、アトラクションが少ないという意見があります。</p> <p>これらの問題は、道の駅を作ることによって解消することができると思います。今まで道の駅を作るという考えはありましたか。また、その考えがなかったのであれば、その理由をお聞かせください。</p> <p>また、道の駅は国土交通省で重要視されていて、地域活性化や防災の拠点などを重視しているそうです。现阶段で町民が不満に感じているものを道の駅によって部分的に解消でき、街の発展につながるのではないのでしょうか。</p> <p>以上のことについて、町の考えをお聞かせください。</p>
金井産業経済課長	<p>今まで道の駅を作るという考えについては私の方からお答えさせていただきます。</p> <p>道の駅の目的は、安全で快適な道路、交通環境の提供と地域振興に役立つ施設として、道路利用者のための休憩機能、また、道路利用者や地域のための情報発信機能、そして活力ある地域づくりのための地域連携機能の3つの機能を合わせ持つ施設とされております。</p> <p>御代田町の道の駅については、平成21年度及び平成28年度に検討しております。平成21年度は、国土交通省と佐久浅間農業協同組合と協議を始めましたが、それと並行して、都市農村交流により農作業体験ができるクライנגルテン整備事業も検討しており、限られた財源を有効的に活用する観点から、クライングルデン整備事業を優先することといたしました。</p> <p>その後、平成28年度は、農産物直売所検討委員会において、道の駅を含めた農産物直売所のあり方について検討をしております。その結果、近隣市町村の道の駅や直売所の運営内容、経営状況を把握しないまま道の駅を建設することは、類似施設の競合につながる恐れがあること、また、公共施設などの建設や維持管理、運営を行政主導で実施するのではなく、民間の資金や経営能力、技術的能力を活用した民間主導の可能性についても検討する必要があるなどの理由から、道の駅を含めた農産物直売所の建設は適当でないという判断に至りました。</p> <p>現在、地元や農産物のブランド力の向上と地産地消の活動として、中山間地営農事業組合や佐久浅間農業協同組合、株式会社荻原アグリスの3つの事業所が、御代田産農産物の直売所として運営をされております。</p>
小園町長	<p>後半のご質問については私の方から、答弁させていただきます。御代田町の周辺を見ますと、中部横断自動車道佐久南インター付</p>

	<p>近にある、ヘルシーテラス佐久南や御代田からサンラインを西に進むとある、東御市の雷電くるみの里など、賑わいを見せている道の駅があることは承知しております。そのうえで、先ほど産業経済課長が答弁した通り、課題もかなりあるというのが率直なところであります。</p> <p>県内の道の駅の状況を聞くと、御代田町だと、野菜の生産が乏しい冬の運営には、かなり無理がありそうなこと、民間で道の駅を運営できる主体が、町内には今のところないように思われること、また、道の駅は24時間利用可能な駐車場の整備など、国の補助を受けるためにつけられている条件がなかなか厳しいことなど、建てたはいいけれども、年々の維持費の捻出が大変という状況も予想されることから、過去2回の検討結果も踏まえて、まだ期は熟していないと考えているところであります。</p> <p>むしろ、今日この模擬議会に参加している皆さんが成長を遂げられ、そういったまちづくりに関する事業に積極的に関わっていただけるようになることが、重要ではないかと考えております。期待しています。</p>
安井議員	<p>現在の町の道の駅の意見を聞けて、建設が難しいという現状が分かり、とても感謝しています。</p> <p>以上で私の質問を終わります。</p>
中山議長	<p>以上で通告2番、安井聡太郎議員の通告の全てを終了します。</p> <p>この際、暫時休憩します。</p>
<p>暫時休憩（14時33分～14時36分）</p>	
中山議長	<p>休憩前に引き続き、本会議を再開し、一般質問を続行します。</p> <p>通告3番、白井りの議員の質問を許可します。</p>
白井議員	<p>私は、町の子育て施策について質問します。</p> <p>私は、母や子育てをしている学校の先生に御代田町の子育て応援ヘルパー派遣事業のことを知っているか聞いたところ、あまり知られていないように感じました。現在、町では子育て応援ヘルパー派遣事業についてどのようにPRをしているのでしょうか。</p> <p>また、町のホームページを見たところ、子育て応援ヘルパー派遣事業の利用回数は1年間で3回ととても少なく思いました。子育て世帯の親の目につく、保育園や児童館などにチラシを貼るなどのPRをすれば、この事業のターゲットとなる子育て世帯からの認知度や利用度がより増えると私は考えます。</p> <p>そして、子育てをしている学校の先生に子育て支援について聞いたところ、子育て応援ヘルパー派遣事業もありがたいが、病児保育があるとより助かるとおっしゃっていました。</p> <p>町は佐久定住自立圏事業の中では病児保育を行っていますが、</p>

	<p>佐久にしか病院がありません。御代田町民は病院へ行く時間がかかるため、利用しづらいと思います。</p> <p>そのため、医療法人社団軽井沢西部総合病院に協力を依頼して、御代田町独自に病児保育を行ってはどうでしょうか。</p> <p>以上のことについて、町の考えをお聞かせください。</p>
佐藤町民課長	<p>御代田町の子育て応援ヘルパー派遣事業のPRについてお答えいたします。</p> <p>初めに、子育て応援ヘルパー派遣事業についてご説明します。子育て応援ヘルパー派遣事業は、平成30年度から開始した事業で、一時保育の利用など、保育園の利用ができない満1歳になる前のお子様を養育する保護者の支援策として、御代田町社会福祉協議会へ委託して実施しています。</p> <p>内容といたしましては、満1歳になる前のお子様を養育している方に対し、食事の準備や片付けなど必要な家事援助、育児援助を行い、養育をサポートする事業で、1時間につき自己負担500円で利用が可能です。なお、ヘルパーが1人でお子様のお世話をすることはできません。</p> <p>利用の際には、町民課こども係に申請書をご提出いただいた後、役場職員と社会福祉協議会のヘルパーがご自宅に訪問し、希望を確認しています。</p> <p>PRといたしましては、現在、町ホームページに掲載しているほか、町民課こども係で作成している子育てガイドブックにも掲載しており、御代田町への転入の際や保健福祉課健康推進係に妊娠届け出書を提出に来られた方に対して、産後ケア事業などの他の事業と一緒にご案内をしております。</p> <p>次に、PRにより認知度や利用度が増えるといったことについてのお答えをいたします。子育て応援ヘルパーの利用者は、平成30年度の事業開始以降、1番多い時で令和2年度の5名、124時間です。昨年度は1名の方が3時間利用したのみにとどまりました。今年度は3名の方にご利用いただいております、そのうち2名の方は毎月何度か利用しておられます。</p> <p>利用しない理由として、家に人をあげることに抵抗があると伺っております。過去には申請書が提出され、訪問による面接を行った結果、利用しない事例もありましたので、制度を知っていても利用しないことを選択するご家庭もあるようです。</p> <p>PR活動といたしましては、先ほどお答えしたホームページや子育てガイドブックへの掲載などのほか、今後はより多くの町民の皆様目に触れることができる広報やまゆりや各種SNSで定期的に発信し、周知を図ってまいります。</p> <p>子育て応援ヘルパー派遣事業について、利用者ご本人だけでな</p>

く、町民の皆様にも理解が広がることで、制度を知ったご家族の方やご友人などから、満1歳になる前のお子様を養育している方が困っている時にお声がけしていただくこともでき、保護者の皆様が気軽に子育て応援ヘルパーを利用するきっかけになるのではないかと考えます。

利用面では、妊娠中や満1歳を過ぎてからも利用できるように、利用可能な時期を広げてほしいという声もございます。制度開始当時は、あくまで保護者の皆様の育児をサポートすることから満1歳までといたしましたが、ご要望が多いようであれば、今後の検討が必要だと考えています。

しかし、この事業は、国や県から子ども・子育て支援交付金の交付を受けているため、交付要件を満たしていなければなりませんし、自宅を訪問することのできるヘルパーの確保など、委託先である御代田町社会福祉協議会とも協議を行う必要がある事業であることから、今後も検討を続けてまいります。

最後に、御代田町内独自に病児保育を行う予定についてお答えをいたします。ご質問では、病児保育といただいておりますが、佐久定住自立圏の事業として、当町では病後児保育も提供していることから、あわせて病児病後児保育として回答いたします。

病児病後児保育は、保護者の皆様の子育てと就労の両立を支援するとともに、お子様の健全な育成及び資質の向上に寄与することを目的に、病気の治療中または回復期にあり、集団保育が適当でなく、かつ、やむを得ない事情により家庭で保育のできないお子様を、専用の保育室で看護師等の専門スタッフがお預かりするサービスです。

利用できるのは、保育園や幼稚園などに通園している満1歳以上のお子様であり、白井議員がおっしゃる通り、現在は佐久定住自立圏事業として、病児保育は浅間病院、病後児保育は岸野保育園を利用できることとなっています。なお、事前に町民課こども係に申請書を提出いただく必要があります。

しかし、御代田町からは遠方であるなど、送迎の面から利用を断念する声もあり、御代田町内での病児病後児保育の需要はある中で、満足の行く利用ができていないのが現状です。今後、町独自の病児病後児保育についても検討していく必要があるのではないかと考えております。

しかし、開設には、看護師の確保や医師との連携、感染症のお子様をお預かりするための保育室など、ハード面において準備が必要なことが多数ございます。また、病児病後児保育では、病気の治療中や回復期のお子様をお預かりするため、体調が急変する可能性もあり、通常の保育以上に十分な注意、対応が必要となり



	<p>ます。緊急時の医療機関との連携はもちろん、病児病後児保育担当看護師の確保や、医師とすぐに連絡が取れるような連携は特に重要となる点です。そういったことも踏まえ、病児病後児保育の開設は慎重に検討してまいります。</p>
白井議員	<p>先ほど、子育て応援ヘルパー派遣事業で、実際に家に行つての訪問が負担であれば、今現在はパソコンなどで zoom による訪問などをすることは可能だと思うのですが、どのように考えていますか。</p>
佐藤町民課長	<p>そのような取り組みの方法についても検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
白井議員	<p>御代田町の子育て施策が充実し、子育て世帯の負担が減ることを期待します。</p> <p>以上で私の質問を終わります。</p>
中山議長	<p>以上で通告 3 番、白井りの議員の通告の全てを終了します。</p> <p>通告 4 番、市川翼議員の質問を許可します。</p>
市川議員	<p>私は、住民生活を支援する包括的政策について質問します。</p> <p>最初に、現在、御代田町は、社会福祉として、体の不自由な高齢者や障がい者が日常生活に不安を抱くことなく、より安心した生活を送れるようにどのような支援を行っているのでしょうか。また、今後行う予定のある支援があれば教えていただきたいです。</p> <p>次に、御代田町は、少子高齢化の影響で将来的に町民の高齢化が深刻化していく状況にあると言えます。そして、日常生活では、医療機関などの公共施設を利用しに行く際、どうしても車の存在が欠かせません。町民の高齢化が進み、それに伴って高齢ドライバーが増えていくことは、交通事故発生率の増加につながる可能性があり、私たちにとっても高齢者にとっても不安な要素となるでしょう。</p> <p>また、医療機関などを利用する際も、車を運転して病院に向かい、時によっては長時間待つ必要があるというのは、高齢者にとって大きな負担になると思われまます。医療機関を利用するのに車が必要という点では、体の不自由な障がい者にとっても少なからず負担になると思われまます。そこで、そのような問題を解決し、町民が老後も安心して生活していけるようにする支援として、体の不自由な高齢者や障がい者に対する無料の交通手段の提供や遠隔診療の導入補助など、町民生活を支援する包括的サービスを実施するのはどうでしょうか。</p> <p>以上 2 つについて、町のお考えをお聞かせください。</p>
内堀企画財政課長	<p>私からは、交通手段の提供の部分について、お答えいたします。</p> <p>初めに、御代田町の交通手段の現状を、ご説明いたします。</p>

	<p>町内での交通手段は、大きく分けて、しなの鉄道、千曲バス、タクシーの3つとなります。しなの鉄道は長野方面から軽井沢町までつながる重要な公共交通機関として、また千曲バスは御代田駅から佐久市の浅間病院までつながる1日1往復の定期路線バスであり、どちらも高校生の通学に欠かせない重要な公共交通となっております。タクシーについては、一般の方が利用する通常のタクシーと、タクシーを活用した行政サービスがあります。町が政策として実施しているタクシーを活用した行政サービスには、高齢者に対するタクシー利用助成事業、高齢者運転免許証自主返納促進事業、障害者福祉タクシー利用助成事業などがあります。</p> <p>このほかにも、高齢者の移動を支援する制度として、NPO法人はつらつサポーターが行っている福祉有償運送の事業があります。これらのうち、無料で実施しているのは、高齢者運転免許証自主返納促進事業のみとなります。</p> <p>高齢者で運転免許証を返納した方を対象に、1000円のタクシー利用助成券を24枚無償で交付していますが、こちらは1人につき1度のみでの交付としております。その他の事業については、皆様の貴重な税金から行政サービスを実施していることから、タクシー利用料1000円のうち、町が700円を負担して、利用者からは300円の受益者負担をお願いしているところです。</p> <p>この受益者負担とは、町が行う行政サービスにおいて、そのサービスを利用する特定の方、いわゆる受益者が利益を受けるものであるという前提から、利用をしない方との均衡を考慮し、その受益の範囲内で行政サービスの対価として応分の負担をしていただくものです。市川さんの提案につきましても、高齢者などの利用における受益者から見た場合、サービスの利用料は当然無料であれば、喜ばしいことではありますが、無料とした費用は、税金で賄うことになり、サービスを利用しない方に負担を課すこととなります。最終的に、これは住民全体の負担となることとなります。このため、行政サービスを利用する方と利用しない方との負担の公平性を図る中で、今後、住民の皆様が交通手段を通して、さらに暮らしやすく快適に過ごせるよう、現在のサービスの改善や、新たな交通手段について、関係機関と協議を重ねて、こちらについては、引き続き検討していきたいと、そのように考えております。</p>
浅川保健福祉課長	<p>私からは遠隔診療の導入援助など、町民生活を支援する包括的なサービスについて何か考えはあるのかという点について、お答えをさせていただきます。</p> <p>まず、この質問の中にあります、遠隔診療という言葉についてですが、国の文献なんかを見ますと、遠隔医療という言葉が多く</p>

	<p>用いられておりますので、今回は、遠隔医療という言葉を用いて、ご説明をさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>この、遠隔医療のメリットには、患者の負担軽減ですとか、遠隔地でも定期的な、治療が可能であるとか、感染リスクの減少などがある一方、パソコンやスマートフォンなどの操作に不慣れだと使いこなせない、例えば、おじいちゃん、おばあちゃんというような高齢者には少し不向きであるという部分、また、コミュニケーションが取りにくいというもの、また、緊急性の高い疾患への対応が困難であるという点、また、触診をするのができないというようなデメリットも多くあります。また、この遠隔医療を効果的に実施するためには、高度専門医療が可能な医療機関がその中核にあることが重要であるということから、行政がこれを実施するような場合には、県レベルでの連携が必要ではないかと考えております。</p> <p>以上のことから、町といたしましては、医療機関への通院に課題のある、患者さんの支援につきましては、医療保険、介護保険での往診、訪問診療、訪問看護など現状の制度を活用しつつ、不足する部分については、今後検討を重ねて、包括的支援のさらなる充実に努めてまいりたいと考えております。</p>
市川議員	<p>先ほど、交通手段の点で、しなの鉄道、千曲バス、タクシーの交通手段があるとお聞きしました。しかし、千曲バスは1日1往復という点や、タクシーの交通手段であると御代田町ではタクシーが取りにくいという事例を耳にしたことも私はあります。そういう点で、千曲バス1日1往復というのは、浅間病院に向かうバスとしてとても不便であるのではないのでしょうか。また、タクシーの利用については、無償でタクシーを使うという点では、不可能と聞きました。なので、300円という料金で移動できるという点はとてもいいと思いました。そこから、千曲バスの1日1往復という点の改善としては、町の方ではどうお考えでしょうか。町の考えをお聞かせください。</p>
中山議長	<p>時間が過ぎているので、ここで切らせていただきます。</p>
市川議員	<p>直近では、能登半島で大きな地震がありました。各地で深刻な被害が出ています。大勢の方が帰らぬ人となってしまいました。活火山である浅間山の近くに位置する御代田町も、いつ、どんな形で被災するかわかりません。1人でも多くの命を救うためにも、このような支援はきっと役に立つものだと思います。以上で私の質問を終わりにします。</p>
中山議長	<p>以上で通告4番、市川翼議員の通告の全てを終了します。 この際、暫時休憩します。</p>

暫時休憩（15時00分～15時08分）	
中山議長	<p>休憩前に引き続き、本会議を再開し、一般質問を続行します。 通告5番、井出杏奈議員の質問を許可します。</p>
井出議員	<p>私は、入居型介護施設の増設について質問します。</p> <p>御代田町には令和2年度の時点で4000人以上の高齢者がいます。それに対し、御代田町の入居型介護施設は、認知症の診断を受けた人のみが入居できるグループホーム、住宅型老人ホームを除いた施設で、佐久広域老人ホーム豊昇園、軽井沢西部総合病院、きらく苑、介護老人保護施設やまゆりの園のうちの2施設の、合わせて5つしかありません。</p> <p>御代田町の人口は増加傾向にあり、高齢者の数も増えると思います。私たちがこれからも安心してこの町に住み続けられるようにするためには、入居型介護施設の増設が必要だと考えています。町の考えをお聞かせください。</p>
浅川保健福祉課長	<p>お答えをいたします。初めに、御代田町の状況について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>令和6年1月4日現在で、65歳以上の高齢者が4556名となっております。昨年10月1日現在の高齢化率、65歳以上の人口比率のことでございますが、こちらが28.3パーセントで県内77市町村中75位と県内では3番目に低くなっておりまして、若い町民の比率が高く、活気のある町であると思っております。</p> <p>実際にこの介護保険サービスを利用するためには、介護認定というものを受ける必要がございます。昨年の11月末現在で、513名の方が要介護、要支援の認定を受けておられます。この認定者数を高齢者の数で割った町の介護認定率は11.47パーセントで、県内では1,2番に低い状況を堅持しているということでございます。これは、御代田町が県内に先駆けて、平成27年度から介護予防事業というものに着手をし、継続をしてきた成果であるというふうに考えております。</p> <p>次に、町内の入居型介護施設について、ご説明をさせていただきます。介護老人福祉施設、いわゆる特養というものですが、こちら豊昇園の55床ときらく苑の100床、こちらの2施設、それと、老人保健施設、いわゆる老健と呼ばれるものですが、こちらは、やまゆりの園のユニット型、こちらが48床、やまゆりの園の多床室の52床の2施設、それと、介護医療型医療施設は、軽井沢西部総合病院の42床の1施設で、計5施設、297床がございます。</p> <p>この町内の入居型施設の定員数を、先ほどの認定者数で割った令和4年度の認定者1人あたりの定員数が0.595人となっております。全国平均が0.159人で約3.7倍、長野県の平均が0.206人で約2.8倍ということで、大きく上回っている状態でございます。</p>

	<p>す。ですから、全国や県内自治体と比較しても、決して入居型施設が少ないということではありません。</p> <p>しかし、もちろん全ての方が希望する施設を利用できるというわけではありません。他の施設を利用したり、待っている方もいらっしゃると思います。現在、介護人材の不足が、全国的に問題となっておりまして、せっかく施設があっても、介護職員がいないというためにこの受け入れができないという場合もございます。国の方針では、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、また生活支援といったものを一体的に提供する地域包括ケア体制というものを推進しております。</p> <p>できるだけ、在宅で、暮らしていけることができるように、施設サービスだけではなく、訪問ですとか通所といった、在宅サービス、介護予防事業、移動支援ですとか、見守り事業など、生活に密着したニーズの充実を図ることが大切とされております。昨年の11月に実施しました、町の要支援要介護者実態調査では、対象者309人中240名の方から回答がございまして、そのうちの138人、57.7パーセントの方が、可能な限り自宅で生活をしたいという回答をされております。井出議員が、おっしゃるように、いざという時には、入所施設があり、また様々なニーズに答えることができるよう、サービスの充実を図りながら、ご本人が望む暮らしを実現できるように、今後も努めてまいりたいというふうに考えております。</p>
井出議員	<p>ありがとうございます。御代田町の方針について知ることができ、御代田町のすごさをより知ることができました。これからも御代田町の町民の方々が安心して暮らせる御代田町に期待しています。</p> <p>以上で私の質問を終わりにします。</p>
中山議長	<p>以上で、通告後は井出杏奈議員の通告の全てを終了します。通告6番、小林理央議員の質問を許可します。</p>
小林議員	<p>私は、御代田駅の充実について質問します。</p> <p>1点目、町長は、駅は町の賑わいを形成し、地域の活性化を図る上で重要な役割を担い、交流人口の拡大における役割も担っているとおっしゃっていますが、具体的にはどのような点でにぎわいを形成し、活性化を担っているのでしょうか。</p> <p>2点目、現在の御代田駅前に活気がないと感じますが、町としてはどう感じているのでしょうか。また、活気を出すために対策は考えているのでしょうか。</p> <p>3点目、高齢者の方、体が不自由な方、ベビーカーを使用している方などは、駅構内の跨線橋の階段を上ることが難しいので、跨</p>

	<p>線橋にエレベーターを併設すべきだと考えますが、町としてはどうお考えでしょうか。</p> <p>以上3点について、町の考えをお聞かせください。</p>
<p>内堀企画財政課長</p>	<p>私から1点目の質問、駅の賑わい、活性化について、お答えいたします。</p> <p>駅が担う役割は多岐にわたると考えております。駅は交通の要所であるとともに、人の流れを集約していることから、駅周辺には店舗や飲食店が集積しやすく、利便性が高まることにより地域の商業活動が活発化し、地域経済を支える商業や観光産業などの発展を促進する側面があります。</p> <p>また、地域における駅の位置付けを考えた場合、駅従来の機能である交通結節点としての位置付けに加え、地域住民による活動の場である地域コミュニティの拠点として、役割を担い、駅を利用する人々が集まることで、地域の人々との交流が促進され、交流人口の拡大にもつながります。これらの要素が組み合わさり、駅は地域全体の賑わいを形成し、活性化に貢献しうる場所になると考えております。</p> <p>このため、町では今年度から、駅前活性化に向けた長期的なビジョンの実現に向け、駅や駅北口を含む駅周辺整備検討業務を始めました。駅前整備並びに駅改修の検討のため、現状の課題を整理し、将来予測を踏まえ、今後必要となる事業規模や概算事業費を算定することとしています。</p> <p>これらの検討に関してはまだまだ年数を要するところではありますが、来年度以降、利用者である住民などを含めた方々に参加していただき、ワークショップを開催したいと考えております。ワークショップでは、想定される整備パターンや概算事業費を説明し、駅や駅前の周辺整備に対する住民の意向などを抽出し、将来の駅や駅前に何を考え、何を望むのか、様々な意見を集約したいと考えています。来年度の開催を予定しておりますので、ぜひ、小林議員や現在中学3年生の皆さんにも、参加いただければと思います。</p> <p>町では、活気ある駅や駅前となるよう、町づくりに向けて引き続き取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>2点目の、活気を出すための対策ということで、こちらにつきましては、小林議員が駅前に活気がないと感じているということは、町も課題として捉えております。</p> <p>町では、活気を取り戻す取り組みの1つとして、今年度、御代田駅待合室のリニューアルをしなの鉄道と協力して実施しました。このリニューアルは、地域における駅の位置付けを考えた場合、沿線地域の少子化により鉄道利用者が減少傾向にある中、地</p>

	<p>域住民による活動の場である地域コミュニティーの拠点としての活用も強化する必要があると考えたことから、町としてもしなの鉄道に協力したところです。リニューアルに伴う工事費用についても、町が半分ほど負担した事業となっております。</p> <p>駅待合室は、駅を利用する方の待合室としてだけでなく、地域住民にとっての居場所やコミュニティー拠点として利用することができるようになり、駅の活性化や駅前のにぎわいの創出にもつながることが期待されることです。待合室は中学生の皆さんも自由に使えるようになっておりますので、友達同士の交流の場として活用してもらえればと思います。</p> <p>また、町では、駅待合室がリニューアルしたことを記念して、昨年9月30日の土曜日に、駅前広場のロータリー内を歩行者天国とし、リニューアルした駅待合室の周知と駅前の賑わいの創出を目的としたオープニングイベント、お披露目マルシェを開催しました。日程的に御代田中学校の雪窓祭と重なってしまい、中学生の皆さんに来てもらうことはできませんでしたが、当日は推計で2000人ほどの方々にお越しいただきまして、来場者のアンケート結果も好評でした。日頃の駅前とは違って、取り組み次第では人の賑わいを創出することができると感じております。</p> <p>先ほど説明しました駅周辺整備検討業務において、皆様の様々な意見を集約しながら、活気ある駅や駅前となるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えております。</p>
小園町長	<p>私からは、3点目のご質問についてということでございまして、跨線橋にエレベーターを併設すべきということで、お答えしたいと思います。</p> <p>私の町長2期目の公約において、御代田駅の混雑緩和や利便性向上のため、北口の設置を検討するとともに、ホームを渡る跨線橋にエレベーターを設置するよう検討しますと掲げました。</p> <p>駅構内へのエレベーターの設置にあたっては、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、通称でバリアフリー法と言いますが、この法律において、障がい者や高齢者などが自由に移動しやすい社会の実現を目指すことを目的に、駅の1日あたりの利用者が3000人以上の駅にエレベーターを設置する取り組みを鉄道事業者が実施しています。残念ながら、御代田駅は1日1400人程度にとどまっていることから、エレベーターを設置する目安には足りない状況であります。</p> <p>御代田駅はしなの鉄道株式会社の所有物であることから、町の考えだけで一方的にエレベーターの設置判断や工事を行うことはできませんが、仮に町が駅構内にエレベーター2基の設置費用の全額を負担する場合、費用面においても、5億から6億円ほどの費用</p>

	<p>が必要になることが想定されます。費用が高額になる要因としましては、現在の跨線橋にエレベーターを設置するには、跨線橋の側の強度が不足しているため、補強を含めた設置費用が高額となるわけであります。</p> <p>先ほど申し上げました通り、駅はしなの鉄道の所有物であるため、費用はしなの鉄道に負担してもらうことが原則となりますが、現在の経営状況から想定すると、費用負担してもらえるかは簡単なことではないと思っております。加えて、跨線橋は鉄道施設となるため、町が主体となって工事を行うことはできず、しなの鉄道の協力が必要条件となっています。</p> <p>先ほど、企画財政課長が答弁した通り、駅を含む駅周辺、整備検討において、駅構内のエレベーターや駅舎、駅北口、駅前広場について総合的に検討し、進めていきたいと考えております。</p>
小林議員	<p>駅の活性化などを図る上で今は対策を行っていて、そういう対策のおかげで活性化につながるようにも感じます。そして、エレベーターの併設にも難しい点が多く、設置は難しいとわかって、これから自分が駅利用する時などに、高齢者の方などの助けになれるような、動きをしたいと思いました。</p> <p>以上で私の質問を終わりにします。</p>
中山議長	<p>以上で通告 6 番、小林理央議員の通告の全てを終了します。</p> <p>この際、暫時休憩します。</p>
<p>暫時休憩（15 時 28 分～15 時 31 分）</p>	
中山議長	<p>休憩前に引き続き、本会議を再開し、一般質問を続行します。</p> <p>通告 7 番、内堀友理音議員の質問を許可します。</p>
内堀議員	<p>私は、御代田町の町債および起債について質問します。</p> <p>議会の前にお話くださった町長のお話では、町債が 63 億とおっしゃっていましたが、正確な町債はいくらですか。また、起債額はいくらですか。町の現状をお聞かせください。</p> <p>また、その町債を償還する計画はありますか。町の考えをお聞かせください。</p> <p>次に、このグラフをご覧ください。これは、御代田町に町債があることを知っているかを質問したアンケートの結果です。御代田町に町債があることを知らないと答えた人は約 90 パーセントで、大多数を占めています。特に、18 歳未満の中高生は御代田町の財政について知らないことが明らかになりました。現状どのような事業に対してお金を借りて、どの程度起債が充てられているのかが分からないと感じています。</p> <p>財政について知られていないため、町として中高生などでも分かるように何か工夫をしていく考えはありますか。また、18 歳未</p>



	<p>満だけでなく、大人も御代田町の起債や公債について知らないと回答した方が過半数を占めていました。その状況に対し、広報やまゆりや町のホームページ以外で決算報告や中間決算報告を出す計画はありますか。町のお考えをお聞かせください。</p>
<p>内堀企画財政課長</p>	<p>まず1つ目の、町債の状況について、お答えいたします。</p> <p>令和4年度の決算時における町債の残高は、48億2850万円です。また、4年度に新たに借り入れた起債、こちらは、3億8620万円で、返済した町債、こちらは公債費になりますが、こちらが、7億3929万円です。地方債を起こす事業については、道路事業や中学校建設事業など、何千万円、何億円といった大規模な事業のため、事業を実施した単年度、1年間で支出すると、その年度に支出が偏ってしまいます。また、事業が完了して以降も、後世の町民の皆さんに、長い期間にわたって使用していく大きな施設や道路などであることから、借り入れた起債を返済する支出期間、つまり、返済期間を複数年にわたって均すことで、幅広い年代の多くの皆さんに負担を分けることができます。そして、起債の一部を貸し付ける側の国ですが、地方公共団体が必要な財源を調達するために、あらかじめ貸付分の予算を用意しています。</p> <p>さらに、返済額の一部を地方交付税制度により、補填してもらえるという有利な起債がありまして、御代田町では補填率の高い起債、こちらを利用して借りるようにしております。</p> <p>2つ目の質問の町債の償還計画ですが、こちらにつきましては、地方債借り入れ時点で返済計画を立てて、借り入れた年から3年間は据え置き期間というのがありまして、それを超えまして、規模により10年から長いもので40年間かけて返済していきます。</p> <p>例えば、現在通っている御代田中学校を建設した事業では、平成21年度から23年度に3年間かけて、校舎や体育館、グラウンドを建設しました。総事業費は、約30億円になります。このうち、12億円を起債しましたので、現在、25年間かけて、返済しているところです。</p> <p>町全体で、ここ数年ですが、新たな起債が少なく、返済が終了した事業も多いため、町債の残高は年々減ってきています。また、その年の財政状況によりますが、金利が高い期間に借りた起債については、返済期間を繰り上げて償還することによりまして、後世の負担が大きくなるように配慮しているところでございます。</p> <p>最後の3番目に、どういった事業に使われて、起債があることを知らない、何か工夫することを考えているかというところですが、質問の中にあつた通り、広報やまゆりやホームページで年間の決算の中では町債がいくらですということは、今も説明してい</p>

	<p>るのですが、具体的にどんな事業に対して起債を起こしているか周知することは、大切ではないかと思いましたが、方法は広報やまゆりやホームページになってしまうかもしれませんが、具体的な事業や起債のことについては、わかりやすく掲載できるよう、また今後、掲載方法を検討し、考えていきたいと思えます。ご提案ありがとうございます。</p>
内堀議員	<p>ご回答の中で、何の事業にどれくらいお金を借りているかということ町ホームページやまゆりなどで載せるとおっしゃっていたのですが、町債を返済しない理由を出す計画はありますか。町の考えをお聞かせください。</p>
内堀企画財政課長	<p>詳細を掲載しないわけではないのですが、町の中では決算というものがあまして、どの事業にどれだけの費用がかかって、どういった補助金があつて、どういった起債をしましたっていうことは、議会の中において、詳細はそれぞれ説明しています。</p> <p>ただ、それを全部、広報やまゆりには掲載できないので、大きな部分で町債が、全体でいくらあります、いくら返済しましたということだけは、広報の方で知らせております。なので、詳細を説明しないわけではなく、限られた中では、掲載できないということで、ご理解お願いしたいと思います。</p>
内堀議員	<p>返済しない理由は載せるおつもりはありますか。町の考えをお聞かせください。</p> <p>町債が今 63 億あると思うのですが、それを先ほど説明していただいた通り、何年かかけて返していくとおっしゃっていたのですが、そのことについて、私は初めて知ったので、その理由について、町のホームページや、まゆりに掲載する計画はありますか。</p>
内堀企画財政課長	<p>残高について、計画的に返済していくということです。先ほど、答弁の中にもあったのですが、大きな事業については長年かけて返済していきます。それはなぜかという、多くの年代の人が使うからです。中学校 1 つ建てても 50 年、60 年という風に使っていくようになります。そのために長期間かけて返済していきます。1 回では全て借りたお金返すことできないので、それを計画的に返済しているといった内容になってます。</p>
中山議長	<p>内堀友理音議員に申し上げます。制限時間を超えていますので、終了してください。</p>
内堀議員	<p>町の財政について、御代田町の町民がもっと知れるような町づくりに期待します。これで私の質問を終わります。</p>
中山議長	<p>以上で通告 7 番、内堀友理音議員の通告の全てを終了します。通告 8 番、中根一海議員の質問を許可します。</p>
中根議員	<p>私は、スケートボードパーク新設について、質問します。</p>

	<p>近年、スケートボードは、オリンピック競技にもなっており、人気があるスポーツになってきています。しかし、御代田町にはスケートボードパークがありません。佐久市や小諸市などにはスケートボードパークが設置されていますが、佐久市や小諸市まで行こうとするには、時間や費用がかかり、中高生が利用するには不便があります。</p> <p>スケートボーダー人口が増えるに伴い、器物の破損、道路交通法違反などの取り締まりも増えていきます。スケートボードパークがないことで起こる問題は騒音や器物破損、道路交通法違反など、考えることが多い、難しい問題です。</p> <p>愛知県碧南市では、近くに民家が存在しない工業専用地域にスケートボードパークを設置し、騒音問題を解決した事例があります。また、茨城県笠間市では、若年層の誘致を考え、紫パーク笠間という日本最大級のスケートボードパークが設置され、町の活性化に大いに繋がっています。</p> <p>また、アメリカではアスリート基金というものがあり、そのお金で発達障害の子供にスケートボードに触れさせる事業が行われたそうです。理由は、発達障害の子どもは、仲間から外れ、1人で遊んでいる姿が度々見られるようなので、自分で好きなようにできる、スケートボードが、最適と考えられたからです。</p> <p>チームワークやルールがあるスポーツと違い、自分が好きなように表現できるスケートボードは、神経システムや脳の一部を刺激して、物を見る力、話す言葉、アイコンタクトにいい影響があるという研究もあります。</p> <p>以上から、スポーツによる地域振興のために、スケートボードパークは御代田町に必要だと考えます。町の考えをお聞かせください。</p>
小林建設水道課長	<p>スケートボードは、2020年夏季東京オリンピックの正式種目に採用されたのを境に人気に火が付いたことを承知しております。また、近隣では、佐久市の佐久平ミレニアムパークや小諸市の南城公園で、スケートボードやローラースケートを楽しめる施設があるということも承知をしております。まずここで、公共施設を整備するということになりますので、その上で考慮しなければいけないこととお話しさせていただきたいと思います。</p> <p>まずは、皆様の税金により、整備するということを念頭に置かなければなりません。その上で、様々な角度から検討をする必要があります。</p> <p>具体的に、1つ目としては、ニーズがあるかどうか、この場合ですとスケートボーダーの人数や、そういったグループや団体があるかということがあります。整備した上で、短期的な人数で終わっ</p>

	<p>てしまっは、整備しても費用対効果が得られないといったところを検討する必要があります。</p> <p>2つ目としては、施設を整備する場所の選定、これは先ほどご質問の中にもありましたけども、騒音の問題などがありますので、トラブルが発生しないような場所を選ぶ必要がございます。また、施設の規模をどうするか、それから、その整備費用にいくらぐらいかかるのか、その費用をどう捻出するのかといったところも検討する必要があります。</p> <p>3つ目には、施設の管理をどうするかということがございます。誰が施設の管理をするのか。また、スケートボードをする方と公園を利用する方の安全をどう確保していくのかということ。それから、施設の利用を無料にするのか有料にするのか、利用時間をどうするのか。また、作った施設の、整備後のメンテナンスや、数年後の改修費用、どういうふうにやって、どのぐらい費用がかかるのか。こういったことも含めて、いろいろな角度から検討をする必要がございます。</p> <p>現時点では、残念ながら、スケートボードパークを整備する計画はありませんので、近隣の施設を利用させていただくなど、安全な場所で、楽しんでいただきたいと思います。</p>
中根議員	<p>私の質問内容で述べたことを加味していただけるのなら、アメリカの例や発達障害の子、道路交通法や近隣住民への、騒音の迷惑、その他にも色々な課題があるスケートボードパーク新設ですが、それを作るということは、今までと違った視点で注目を浴びるかと思います。御代田町で、ある程度の大きなスケートボードパークを作ることは、国内だけでなく、海外にも御代田町の周知につながり、今後の御代田町の発展にも寄与すると思います。</p> <p>このような私の意見と、情報を加味しながら、町の考えをお聞かせください。</p>
小林建設水道課長	<p>中根議員から、いただいた質問の中にありましたように、チームスポーツとは違って、個人スポーツの中で、そういった発達障害や、身体的なところのケアもできるというお話も、改めてお聞きすることができました。この場ですぐ整備しますというようなことは、お答えできないのですが、町の公共事業においては、御代田町はあくまでも計画行政ということを行っております、御代田町には、長期振興計画という計画がございます。それに基づいて、それぞれ各課で実施計画という直近5年間ぐらいの計画を立てて、事業を進めてきておりますので、そういった意味では、計画行政に乗った中で、整備していくということになるかと思えます。</p> <p>先ほどお答えしたように、現時点で整備するというお答えはで</p>

	<p>きませんが、今は、スポーツとしての施設という考え方もございますので、今後、そういった需要が高まれば、計画行政の中でしっかり、整備していくということになるかと思えます。</p>
中根議員	<p>スケートボードパーク新設以外にも、街の発展につながることを願います。</p> <p>以上で私の質問を終わります。</p>
中山議長	<p>以上を持ちまして、本模擬会議に通告のあった一般質問は全て終了しました。</p>
日程第4 閉会宣言	
中山議長	<p>これにて閉会したいと思います。</p> <p>閉会に先立ち、お礼の挨拶を申し上げます。</p> <p>まず、今回は、僕たちに模擬議会という将来のためになる経験をサポートしてくれた関係者の皆様、ありがとうございました。僕は今日の意見交換を聞いて、町の代表の方々が御代田町についてどれだけ熱量を持って考えてくれているのかが伝わりました。また、中学生は御代田町に足りない部分や、改善点をうまく伝えられていたので、もっといい御代田町になると僕は確信しました。そして、議会というのがどれだけ大事なことなのか知ることができ、とても貴重な体験ができました。本日はありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして第4回御代田町中学生模擬議事を閉会します。ありがとうございました。(15時54分閉会)</p>
町長あいさつ	
小園町長	<p>まずは、第4回中学生模擬議事に際し、議事進行を務めてくれた議長、質問を考えてくれた質問者の皆さん、また、質問の案出しにあたり、サポート役に回ってくれたすべての生徒の皆さん、指導に当たっていただいた先生方など、関係したすべての皆さんに敬意と感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>過去に開催できました2回の模擬議会では、答弁の切り替わりなど煩雑になるのを避けるために、私が全部答えるスタイルをとっていましたが、今回からそれぞれの担当課が職務を担っているという考え方を明確にし、中学生の皆さんにも、役場が組織だって物事にあたっている現実を知ってもらうため、原則的には、それぞれの担当課長に答えてもらうこととしました。私が答弁するのは、公約事項に密接に関わっている事案など、少数にとどめました。より本物の議会の進行の仕方を忠実に再現し、より生徒の皆さんの参考になるようにと考えて組み立てました。</p> <p>これまでもそうでしたけれども、皆さんのご質問にしっかりと答えるべく、役場全体を挙げて答弁を考えました。それもこれも、</p>

皆さんができるだけより良い学びを得られるようにという願いが元となっています。

さて、せっかく皆さんから良いご質問をいただきましたので、今回、スタイルを変えましたので、ここで、それぞれのご質問に関する私の感想を述べさせていただきたいと思います。

通告番号1番、松本奈桜さんは、いわゆるシチズン通りから、西軽井沢方面に抜けるガード下付近の、安全対策に関するご質問をいただきました。

ガード下付近に関しては、ガード下自体が狭いものですから、車の行き違いができず、安全性の確保に苦慮しています。松本さんからは、付近を通行する人の目線をご提示いただき、ありがたく思いました。

大雨の対策に関しては、事前の見回りなどの準備を欠かさないなどの対応を進めてまいります。また、横断歩道の見通しに関しては、答弁にもありましたけれども、どうしてもあちちを立てればこっちが立たずというような形になってしまいます。ですけれども、電柱の移設について、中部電力と協議することをお約束申し上げたいと思います。

通告番号2番、安井聡太郎さんのご質問については、私からも答弁しましたけれども、付近の多くの自治体では道の駅があるのに、御代田町にはなぜないのかということ、町民の多くが抱きうる疑問だろうと思います。

御代田町では、私の就任後、道路予算や都市計画予算に対して、多くの国庫補助を得られるようになってきており、道の駅についてもいざ建設するとなれば、国庫補助をいただける確率はかなり高いと期待ができます。しかし、特に道の駅というものは、作ってそれで終わりではなく、運営にも多額のお金がかかります。そして、あまり知られていないかもしれませんが、多くの道の駅が赤字に苦しんでおりまして、自治体による支援が必要な状態であります。

町内には、町内外のお客様で賑わう、直売所がいくつもあります。まずは、既存の直売所との連携や何らかの支援ができれば、そちらの方が現実的ではないかとも考えていますので、ご理解いただければと思います。ありがとうございました。

通告3番白井りのさんの質問でありますけれども、大変よく調べていただいています。専門性が高い質問だと感じました。

町の事業全体に言えることですが、職員が当たり前と思っていることでも、広報が不十分なことで、町民や町外のお客様に伝わっていないと思うことは、本当にいろんな分野であります。ご質問の子育て応援ヘルパー制度は、本当に子育て中に役立つサ

ービスでありまして、町民の認知がもっと進めば、利用者が増加することは間違いないと思っています。おそらく、自分に関係があるということがなかなか認識できないような周知方法になってしまっているということが、私なりの課題と感じています。

町の広報は、総務課の情報防災係というセクションで担っておりますが、本来、役場内のあらゆる部署が広報マインドを持ち、積極的に事業についてのお知らせをしていくのが理想だと思っています。病児病後児保育と合わせて、子育て中の方の負担をできるだけ下げていくことを考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

通告番号4番市川翼さんのご質問ですが、住民生活の支援という幅広いテーマとなりました。役場では、これまでも様々な住民サービスを行ってきており、今後も内容を充実させていくべき検討しております。

交通手段の確保については、現在、国が皆さんご存じかと思えますけれども、ライドシェアに関して検討を進めています。まずは、この議論の推移をしっかりと注視して、御代田町の実情に合わせた実施方法があるのか、慎重に検討したいと考えております。

そのうえで、先ほど企画財政課長から答弁いたしました通り、受益者負担をどのようにしていくのかを考えていく必要があります。なんでも無料にできれば、確かに嬉しいわけですが、御代田町の財政状況、現状、良好ではありますが、少し手綱を緩めると、すぐに財政状況は厳しくなってしまう。受益者負担のあり方を、この際、改めてよく考える必要があるなと思っております。ありがとうございました。

通告番号5番。井出杏奈さんのご質問は、入居型介護施設が少ないのではないかというご質問でありました。このご質問については、主に2つの論点があると感じております。

まず、入居型介護施設が、近隣自治体と比較して本当に少ないのかという視点ですね。もう1つは、本当に入居型じゃないと町の介護サービスは全うできないのかという点であります。

1点目については、先ほど、申し上げた通り、全国平均の3.7倍、実は御代田町にすでにあるということです。多いということがまず挙げられます。

また、2点目につきましては、ちょうど12月議会、本物の議会ですけれども、小規模多機能型居宅介護サービスに関するご質問が寄せられました。この質問では、要は入居型よりもむしろ居宅介護に工夫すべき点があるのではないかという議論だったと認識しております。そういった、ご質問もあるということでもあります。

また、町としては、これから健康寿命を延ばす取り組みに力を

注ぐ必要があると考えております。御代田町では、長年、介護予防の取り組みが進んでおり、介護保険料が低い自治体として知られてきた経緯があります。トレーニング施設の建設や、その前段からの健康増進の取り組みに力を入れてまいる考えで、結果的に介護状態となる期間を短くする取り組みを進めてまいりたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。ありがとうございました。

通告番号6番、小林理央さんのご質問ですが、御代田駅の充実に関するものでありました。昨年9月末に駅の待合室をリニューアルしました。これにより、列車を待ったり、高校生、大学生など久しぶりに会った他校の友達とお話したりといったことが、かなり快適になったと思います。

町としては、多額の予算を要するエレベーター設置など、駅舎の大規模改修を考えております。そちらは、現在、国の予算をたくさんいただいている都市計画道路東原西軽井沢線に一定のめどが立った時点で、国の補助を要望していく考えでおりますので、先ほど、現状では難しいという感じの答えだったと思いますが、ゆくゆくは可能であるということも併せて知っておいていただければと思います。

すぐにあれもこれもというわけにはいきませんが、まずは待合室をリニューアルしたことについて、ご評価いただけるとありがたいと思っております。これまでの役場の考えでは、近い将来に大規模改修の計画があったら、その手前に小さいリニューアルは、あまりしないものでした。

ですが、今、高校生、大学生で通っている人というのは、数年後はもう通わなくなってしまうので、できる範囲で、その時点でリニューアルすることが大事だと考えました。皆さんは、4月から高校生になる方が、かなり多いと思いますけれども、小さな待合室1つ作るのでも、色々考えて実行しているわけでありまして、皆さんが駅を日々使うようになってくると、そういった実感も持っていただけるものと期待しております。ありがとうございました。

通貨番号7番、内堀友理音さんからは、町の借金である町債についてのご質問でした。

まず、私は中学生から財政に関する質問が出てきたことを大変嬉しく思っております。本物の議会でもそうなのですが、具体的な施策については、イメージが湧きやすく、質問を組み立てやすいというのがあるのですけれども、なかなか財政というのはかなり抽象的な議論となり、実は本物の議会でも最近では取り上げられることが少ないように思っております。



1つには、足元の人口増やふるさと納税が集まっているなど、御代田町の財政運営が現在良好でありまして、質問の必要がないということもありますが、今回、あえて財政に関する質問をしていただいたのはありがたいと思っております。

町の借金は、将来の負担となりますので、若ければ若いほど関心を持つのではないかと思います。そして、若い人ほど町が抱える借金は少ない方が良いというお考えになるかと思えます。

ですが、先ほど議論が噛み合わないところがありましたけれども、これはおそらく、想像で申し訳ないですが、借金ということについて少しネガティブなイメージをお持ちなんじゃないかなという感覚を持ちました。実は我々はそういう感覚だけではないです。道路や公共施設など、長期間使えるインフラの費用に対しては、現在御代田に暮らしている人たちだけで負担すると、かえって不公平だとも言えます。例えば、道路ができていること、道路を使うことは、何年、何十年も、その時その時の方が、道路を使っているわけでありまして、その期間中住んでいる人たちが、その期間に応じて負担するのが最も公平であるという考え方があります。

また、町が抱える町債の多くは、実は元金を返したり利息を払ったりする際に、国が一部を負担してくれる仕組みとなっています。これは、自分の費用でやると、実は国の負担が一切なかったりします。あえて借金をすることで国が負担してくれるというふうになるので、実は借金をすることの方が有利な場面が多々あります。それはちょっと個人と違うところです。ですので、仕組みの違いということでご理解いただければと思います。特に臨時財政対策債という町債については、実は100パーセント国が後で負担してくれる仕組みです。したがって、今、町が抱えている残高のうち、実質的に町の負担となる額が重要であります。

私が生まれた北海道の日高町では、町の貯金である基金の何倍も町債がかさんでいる状態です。下手すると破綻の危機に陥る危険性もあると思います。町の貯金が毎年億単位で減って、借金が億単位で増えている状態なので、このままだと破綻すると思います。

ですが、御代田町は、高齢者のための地域福祉基金、現役世代のための学校給食運営基金、将来世代のための町立小学校建設基金、全世代の役に立つ社会資本整備基金と4つの基金の運用を近年始めたばかりでありまして、すでに合計で13億8800万円貯めております。まだまだこれから増やしていきます。安心して御代田町での生活を続けていってほしいと思います。ありがとうございました。

8番中根一海さんのご質問、スケートボードパーク新設についてでありました。

町としては、できるだけ多くの皆さんの役に立つ施設を作っていく基本的な使命がありまして、オリンピック競技として、まだ歴史の浅いスケートボードの施設を作るのは、今のところは困難かと考えております。近くにあるから御代田にも欲しいというのはよく分かるのですけれども、何でも作ってしまうとやはり、あつという間に町の基金はつき、借金は増えていきます。

例えばなんですけれども、新しいパークを作ることで何か収益が上げられないかなど、町の負担を減らしていく知恵も、これから考えていっていただけると、また、今回質問の中に盛り込まれていると、より良かったかなと感じております。また、ご意見を聞かせてください。ありがとうございました。

全ての質問について、私の感想を述べさせていただきました。本当によく調べ、よく考えてくれたと思います。今回、ここでこのようにご質問になったことは、必ず皆さんの今後の人生にプラスとなるでしょう。今後もぜひ町づくりに関して調べ、考えていってもらいたいと思います。役場はこれからも皆さんの取り組みを全力で応援してまいります。

また、今回、町政運営の参考になるご質問を多数いただきましたので、今後の業務にしっかりと役立ててまいります。

長くなりましたけれども、議会閉会後の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。